

|       |                       |      |     |    |   |
|-------|-----------------------|------|-----|----|---|
| 授業科目名 | 邦楽器実習（三味線） D, E, I, J | 担当形態 | 実習  |    |   |
|       |                       | 開講学期 | 春・秋 |    |   |
| 担当教員  | 杵屋 六春                 | 単位   | 1   | 年次 | 1 |

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

三味線の知識を身につけ邦楽器への理解を深めるとともに基本的な演奏法を習得し、長唄の代表曲が一部演奏出来ることを目標とする。この目標達成のため、三味線の扱い方を始め、調弦法・楽譜の読み方・弾法等、段階的に指導していく。また、第1回目から実際に三味線に触れさせバチを当てるなどして親しませる。中学・高等学校の音楽の授業で生徒に指導出来るためには、理論と実践の双方が求められる。習熟度は一律でない点から、一斉授業であるが、個別授業も臨機応変に取り入れ、全受講生が、目標達成出来るようにする。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

長唄「松の緑」を譜面を見ながら、前驩三味線演奏が出来ることを条件に実技試験を行う。

### ＝授業の概要＝

毎回三味線を弾きながら楽器の特性を体得しつつ出来るだけ早く試験曲の練習へ移行していき試験曲に慣れるよう進行していきます。

### ＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 三味線に関する説明（理論と実践）
- 3回 三味線音楽の鑑賞手引き（DVD鑑賞を含む）
- 4回 三味線の弾き方（基本的な弾法の実習）
- 5回 楽譜の読み方（長唄三味線の楽譜→文化譜）
- 6回 三味線の調弦（本調子、二上り、三下りの3パターンの実践）
- 7回 本調子練習曲実習（十五夜 など）
- 8回 二上り練習曲実習（荒城の月など）
- 9回 三下り練習曲実習（さくら など）
- 10回 より高度な技法実習（ウラハジキ など）
- 11回 長唄「松の緑」前弾きA（3ブロックに分けて実習）
- 12回 長唄「松の緑」前弾きB（3ブロックに分けて実習）
- 13回 長唄「松の緑」前弾きC（3ブロックに分けて実習）
- 14回 長唄「松の緑」前弾き全体練習（その1）
- 15回 長唄「松の緑」前弾き全体練習（その2）
- 16回 長唄「松の緑」前弾き部分試験

### ＝テキスト（必携）＝

書籍名：文化譜による三味線手ほどき  
出版社：邦楽社

### ＝参考書・参考資料（必携）＝

### ＝成績評価の方法と評価の基準＝

実技試験を行う。試験の評価は曲がきちんと表現出来ているか、指づかいは間違っていないか、スクイハジキ等の基本的な技法が出来ているかで採点します。成績評価方法は「実技試験 80%、出欠状況 20%」の割合

### ＝その他＝

